

# 東京地方壮年連合通信 vol.76

TOKYO SOHNEN RENGOKU TSUUSHIN 2017年12月20日

## <バルテマイのごとく>

多摩川バプテスト教会牧師 末盛桜子(すえもり さくらこ)

イエスは、「何をしてほしいのか」と言われた。盲人は、「先生、目が見えるようになりたいのです」と言った。(マルコ10:51)

壮年会のお働きを心より感謝いたします。聖霊の助けと共に、御言葉がこれを読まれるお一人おひとりを強め励まして下さるようにと願います。さて、私の仕えさせて頂いている教会の恵みは何かと、問われるなら、「ありのまま」であると答えます。このことは、特に祈祷会に表されています。年齢、性別、置かれている環境に関わらず、一人ひとりが主の御前に出で、ありのままに真実な祈りを捧げます。職場での人間関係、子どもや家庭の回復、日毎の糧、病の癒し、そして自分自身が抱えている罪の問題。様々な祈りの課題が捧げられます。それは、バルテマイが神の憐れみを求め、主イエスから「何をしてほしいのか」と問われたとき、「目が見えるようになりたいのです。」と、率直に自分の切なる願いを告白する姿と重なります。多くの方は彼の姿を見て、叱りつけ黙らせようとなりました。このように愚直に激しく主を求める祈りの姿は、今も昔も人々の目には不敬度な格好の悪い姿に映るのかもしれませんが。

「武士は食わねど高楊枝」ということわざがあるように、男性社会においては特にそのことを感じるのではないのでしょうか。しかし、だからこそ私たちはバルテマイの信仰に心を動かされ、主イエスがこれを喜ばれたことを思い起こしたいと願います。今日の教会を動かし回復を与えていくのは、この世の優れた知恵でも神学的知識や議論でもなく、見栄えの良きもので自分を隠さず、率直に「ありのまま」主イエスと向き合う本当の信仰の強さではないのでしょうか。バルテマイのごとく、自分の心の叫びを告白し、共に祈れる教会の熱心な祈りではないのでしょうか。そのような信仰は、今の社会にも「本物の強さ」というものを証しする力になると私は考えます。東京の諸教会から、一人二人とバルテマイのような信仰者が起こされて行くことを主に願いつつ、背後より皆様の祝福をお祈りしています。

## 「第9回東京地方壮年連合総会で新会長に選出されて」

恵泉バプテスト教会 竹下達也

東京地方壮年連合の定期総会が11月23日恵泉教会にて開催され、18教会26名が参加しました。東京（千葉）地区は56の教会・伝道所ですから率直に寂しく思います。私は春先から、南ブロック委員として役員会に参加させて頂いておりますが、長きに渡って山田会長を始め委員の皆さま方が、丁寧に会の運営を先導されてこられたことに敬意を表したいと思います。

今回、山田会長が全国壮年連合会長の働きをお受けになられ、残る任期1年を引き継がせていただくことになりました。多くの諸先輩方々を差し置いて私のようなものがでしゃばってと思いましたが、東京地方連合書記としての活動に合わせ東京地方壮年の働きに付きましても、微力ではございますが心を尽くしていきたいと思っております。

所属教会の伝道・奉仕などの諸活動を整えることで手一杯の壮年の皆さまが多くいらっしゃることは、バプテストの大切にしている各教会主義の立場からも、当然のことでしょう。東京地方壮年連合の活動内容をシンプルに、皆さんに関心を持って頂けるよう知恵を絞り、所属教会外の事柄にも関心が薄れないよう、協力伝道の働きができればと思います。各教会が閉じた組織になれば、そこには弊害があります。会衆主義の教会運営を健全に保つためにも外部から俯瞰して自らの教会運営を見る視点も必要なのだと思います。

私たちは地域組織（アソシエーション）のなかで、負の面もプラスの面も、互いに共有し合って、支え合い、励まし合い、信仰を高めていく必要があると思います。それぞれの教会が独自にされている様々な活動や研修を、お互いに切磋琢磨して励ましあえるように広げて活用できればと思います。

連盟結成70年の節目を迎えるわけですが、バプテストの教会は、今を生きる教会として、これからをどう過ごしていくのか、考え直す時期に来ています。そのような大切な時期に私たち壮年の横のつながりは大切さを増してきていると思います。もちろん時代に合わせて壮年だけのつながりに限定されるべきでもないでしょう。

東京地方壮年連合の働きにおいても、臆することなく改革と見直しを受け入れ、新たな道を希望と勇気を持って皆さんと共に歩みを進めていければと思っていますので、ご指導ご鞭撻を是非よろしくお願い申し上げます。

## 東京地方壮年連合 2017 年度定期総会(第 9 回定期総会) 報告

2017 年 11 月 23 日(木) / 恵泉バプテスト教会 / 午前 10 時～11 時 40 分

出席教会 : 18 教会、委任教会 : 15 【33/56 総会成立】、

代議員出席者 : 26 名、陪席 : 1 名

議長 : 鳥飼(市川八幡)、副議長 : 奥村(恵泉)、

書記 : 松原(大井)、栗本(市川大野)

[第 1 号議案]2016 年度活動報告、決算報告、及び 監査報告

【一括承認】

[第 2 号議案]2017 年度活動説明、決算見込み報告【一括承認】

[第 3 号議案]2018 年度の活動計画、予算案【一括承認】

[第 4 号議案]会長補欠選挙 (任期 : 2018 年度の 1 年間)

賛成 : 多数、反対 : 0、保留 : 1 【承認】

<承認を受けて>

竹下新会長 (恵泉) : 56 教会の中で立候補者がいない現実、それぞれの教会での奉仕が忙しいのでは? 壮年会の働きが解りづらい? 閉鎖的? 今連盟は、福島の問題で苦しんでいる。恵泉教会でバプテストの歴史 500 年との事で学びの時を持った。バプテスト主義は地域の活動を大切にしている事を知った。東京地方壮年連合の活動を大切にしていきたい。

山田現会長 (大井) : 全国壮年会連合の若返りの為にこの会長を引き受けた。7 年間、東京地方壮年連合の働きをして、東京の壮年の働きに変化を見ることができました。東京と全国の両方の働きはできないので、この度辞任させていただきました。皆様からの祈りによる協力を、どうぞよろしく願いいたします。

【その他、意見交換】

岡田 (富里)、藤井 (花小金井)、中根 (花小金井)、青柳 (大泉)、中田 (市川大野)、奥村 (恵泉)、佐藤 (栗ヶ沢) 方々より発言があった。

【今後の行事予定】

2018 年 01 月 20 日 (土) 定例役員会 10:00～ 会場 : 大久保教会

02 月 17 日 (土) 第 22 回 研修会 13:30～会場 : 大久保教会

東京地方壮年連合通信の今後の発行予定は 2018 年 3 月、6 月

発行人 : 東京地方壮年連合会長 山田誠一

編集人 : 佐藤洋二

連絡先 : 千葉県柏市東中新宿4-7-5-104 〒277-0061

tel. 090-9834-9464 e-mail. qp4316\_1107yahoo.co.jp

## 東京地方壮年連合主催

### 「第22回研修会」の御案内

主題：「礼拝の持ち方～バプテスト教会として」

発題： 朴 思郁(パク サウク) 宣教研究所所長

バプテスト教会の礼拝の持ち方、あり方を改めて学びきっかけにしたいと思います。

講演後は意見交換、質疑応答の時間を十分にとるようにしています。

と き： **2月17日(土) 13時30分～16時(開場：13時)**

ところ： 大久保バプテスト教会 新宿区新宿 7-26-22

(最寄り駅：大江戸線・副都心線「東新宿」A2 出口より 地上へ出てから左へ行き更に左へ曲がりそのまま進んで右側)

(参加費無料) 出席はどなたも大歓迎

女性会からも青年会からも中高生もぜひ

\*席上献金があります。

(献金は東日本復興支援金として献げます)

問い合わせ先：

青柳 博 090-2664-5305

佐藤洋二 090-9834-9464 まで

主催 東京地方壮年連合

